

7. 生産・出荷・在庫

生産は、緩やかに増加している。

(%)

	[2016年] 2016年度	[2017年] 2017年度	2017年 10 - 12月期	2018年 1 - 3月期	4 - 6月期	2018年 5月	6月	7月
鉱工業生産指数	[0.1] 1.0	[4.4] 4.1	(1.6) 4.6	(1.3) 2.4	(1.3) 1.9	(0.2) 4.2	(1.8) 0.9	P (0.1) P 2.3
鉱工業出荷指数	[0.6] 0.8	[3.9] 3.3	(0.8) 3.1	(1.1) 1.5	(1.9) 2.2	(1.6) 3.3	(0.3) 0.2	P (1.9) P 1.3
鉱工業在庫指数	[5.3] 4.0	[1.9] 3.9	(2.2) 1.9	(3.4) 3.9	(1.9) 2.4	(0.6) 2.5	(1.9) 2.4	P (0.2) P 2.8
製造工業生産能力指数 (2010年 = 100)	[94.5] 94.1	[94.6] 94.3	94.6	94.3	93.7	94.0	93.7	-
製造工業稼働率指数 (2010年 = 100)	[97.7] 98.6	[101.5] 101.7	102.7	101.0	102.0	102.0	99.8	-
第3次産業 活動指数	[0.7] 0.4	[0.8] 1.1	(0.5) 1.1	(0.2) 1.1	P (0.8) P 1.1	(0.3) 1.4	P (0.6) P 0.7	P (0.1) P 1.0

予測調査
8月 5.6%
9月 0.5%

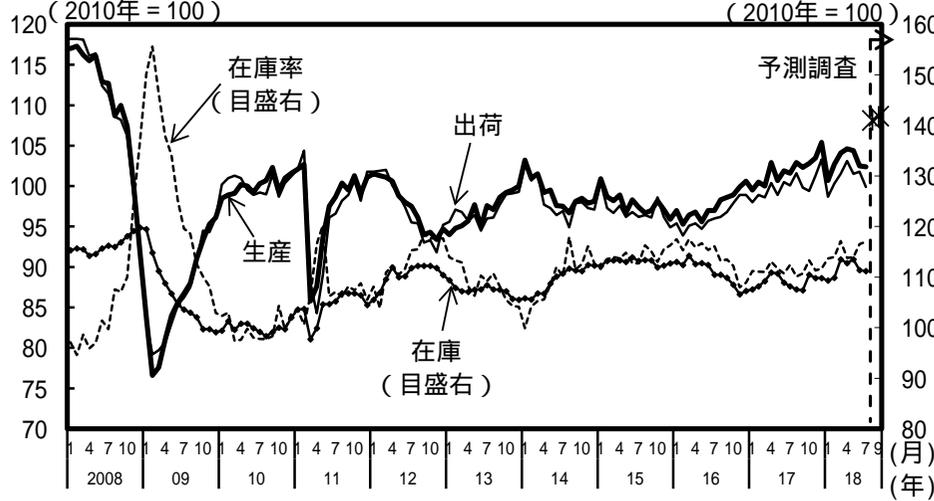
(備考) 1. 経済産業省「鉱工業指数」「第3次産業活動指数」により作成。Pは速報値。

2. 鉱工業生産・出荷・在庫指数、第3次産業活動指数の暦年・年度の下段は前年度比、上段の[]内は前年比。四半期・月次の下段は前年同期(月)比、上段の()内は季節調整済前期(月)比。

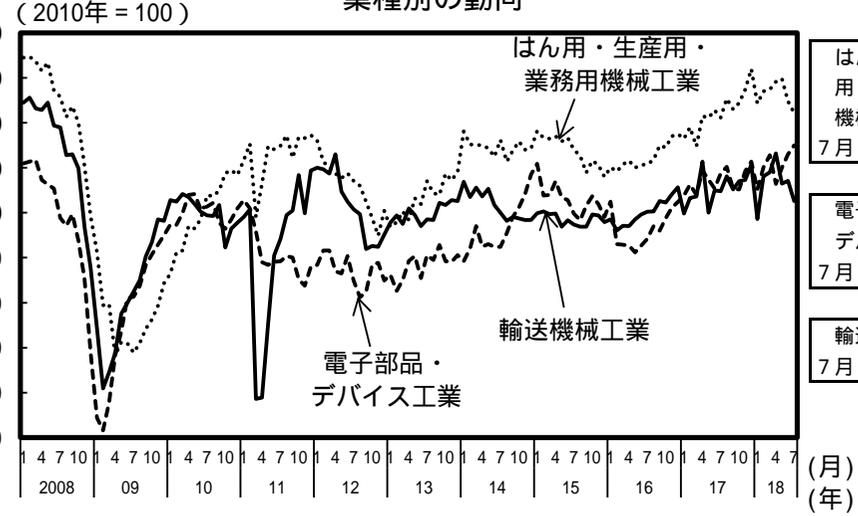
3. 製造工業生産能力指数の暦年・年度の下段は原数値(年度)、上段の[]内は原数値(暦年)。四半期次・月次は原数値。

4. 製造工業稼働率指数の暦年・年度の下段は原数値(年度)、上段の[]内は原数値(暦年)。四半期次・月次は季節調整値。

鉱工業生産・出荷・在庫・在庫率の推移



業種別の動向

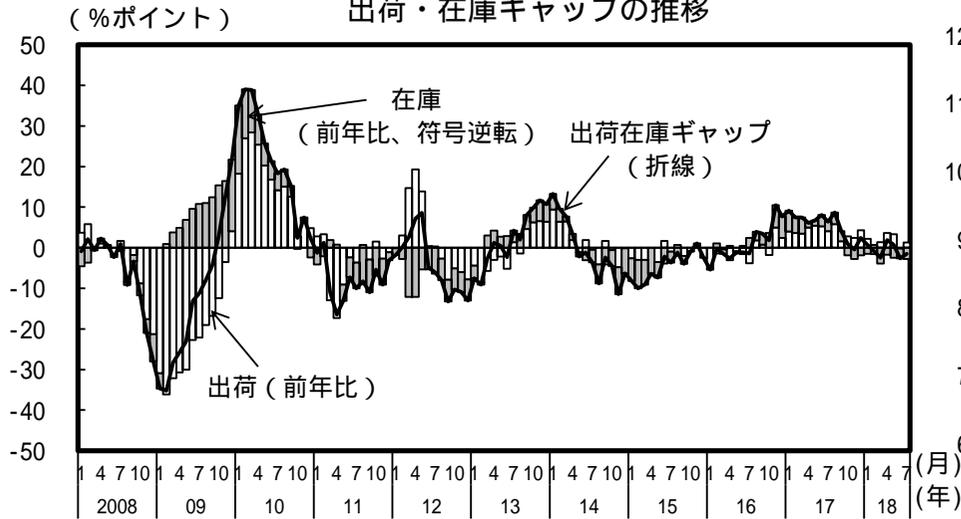


はん用・生産用・業務用機械工業
7月 2.1%

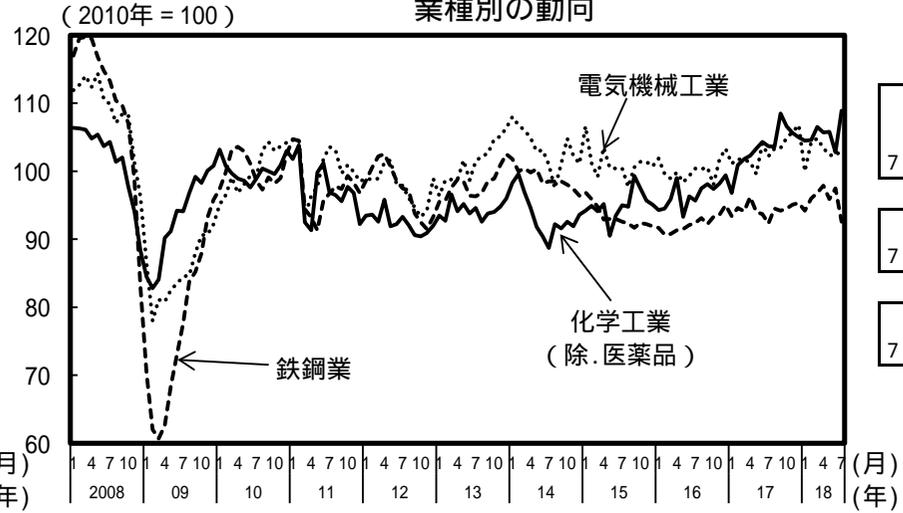
電子部品・デバイス工業
7月 +1.8%

輸送機械工業
7月 4.2%

出荷・在庫ギャップの推移



業種別の動向



化学工業 (除.医薬品)
7月 +5.9%

電気機械工業
7月 +0.8%

鉄鋼業
7月 5.0%

(備考) 経済産業省「鉱工業指数」により作成。最新月の数値は速報値。出荷・在庫ギャップ = 出荷(前年比) - 在庫(前年比)